

競技注意事項

1. 本大会は、2020年度日本陸上競技連盟競技規則および、本大会要項により実施する。なお本協会が作成した「新型コロナウイルスに対する大会参加に関する留意点」を遵守すること。3密にならないよう十分注意し、アップ中・競技中以外のマスクの着用や手洗い等励行すること。

2. 招集について（招集所は競技場北側スタンド下倉庫～100mスタート地点横）

(1) 欠場の意思の確認は、棄権届の提出で行い、招集所での招集は行わない。

(2) 競技者は、招集時刻にトラック競技はスタート位置（3000mSCは第4ゲート、4×100mRはそれぞれの待機場所）フィールド競技はそれぞれの競技の待機場所で点呼を受ける。退場は競技役員の指示による。

《フィールド競技の待機場所》 ・走高跳：Bゾーン ・棒高跳：ボックススタンド前
 ・走幅跳・三段跳：雨天練習場 ・投てき競技：Aゾーン

(3) 招集時刻は次の招集時刻一覧表のとおりとする。

競技種目	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技	競技開始15分前	競技開始10分前
投てき競技	競技開始30分前	競技開始20分前
跳躍競技	競技開始40分前	競技開始30分前
棒高跳	競技開始50分前	競技開始40分前

競技者は、競技順序記載の該当する組の競技時刻に合わせて、点呼を受けること。

(4) 招集完了時刻に遅れたものは棄権とみなし、出場を認めない。（但し、他種目に出場中は代理でも可）

(5) リレーのオーダー用紙は当該種目、第1組目の招集完了時刻1時間前までに、招集所に提出すること。オーダー用紙は招集所に準備する。

3. 番組編成について（レーン順・試技順）

トラック競技のレーン順とフィールド競技の試技順は、主催者が抽選で決定し、プログラム記載の各競技者の登録番号の左に数字で示す。

4. トラック競技について

(1) スターターのコールは英語とし、一度の不正スタートでも責任を有する競技者は失格させられる。

(2) 800mまでのトラック競技と4×100mRは予選をタイムレースとする。

(3) 5000mWは、男女同時スタートとする。

(4) リレーチームは、同一クラブ・同一学校で編成された1チームであり、リレーメンバーは、リレーを含む選手権種目のいずれかにエントリーしていること。また、リレー競走においては、チームの出場者は同一のユニフォームを着用すること。

5. アスリートビブス（旧ナンバーカード）について

(1) アスリートビブスの番号は、2020年度の日本陸連登録番号とし、各自で作成し胸背部に確実に付ける。

トラック競技の腰ナンバーカードは主催者が準備する。（400mまでの種目と4×100mRは腰ナンバーカードを使用しない。）

(2) 跳躍競技の出場者は胸背部のいずれ一方のみでよい。

6. 用器具は競技場のものを使用するが、やりは検定後持参のものを使用してよい。

やりの検定は競技開始1時間前にゴール側用器具庫で行なう。

7. 競技場は全天候舗装である。スパイクの数は11本以内で、長さは走高跳およびやり投は12mm以下、その他の種目は9mm以下を使用する。

8. 走高跳、棒高跳のバーの上げ方は下表のとおりにする。ただし、気象条件等により変更する場合もある。

競技	種別	練習	試技								
			1.50	1.60	1.65	1.70	1.75	1.80	1.83	1.86	以降3cm
走高跳	男	任意の高さ	1.20	1.25	1.30	1.35	1.40	1.45	1.50	1.53	ずつ上げる
	女		2.60	2.80	3.00	3.10	3.20	3.30	3.40	3.50	
棒高跳	男		2.00	2.10	2.20	2.30	2.40	2.50	2.60	2.70	ずつ上げる
	女										

9. 更衣室は、更衣の利用のみとする。更衣を速やかに行き退出すること。利用者が多い場合は、人数制限を行う場合がある。

10. 本大会においては、密集に注意して競技結果の掲示を行う。

11. 表彰について

(1) 選手権種目の1位にメダルと賞状、2・3位には賞状を授与する。

(2) 優秀選手賞として、男子1名、女子1名を表彰する。